

# 安足地域麦類技術情報 No. 2

令和5(2023)年 12 月 21 日  
安足農業振興事務所

- 3枚目の葉が展開したら麦踏みを行いましょう
- 排水対策をしましょう

## 1 気象経過と生育概況

- ・ 11月は平年に比べて気温は1.9℃高く、降水量は平年比91%と少なく推移しました。【図1、2】
- ・ 播種時期に好天が続いていたことから、麦の播種は順調に行われました。
- ・ 播種後の天候が良好であったため、出芽は良好でした。11月中旬に播種したほ場では3枚目の葉が展開し始めています。【写真1】

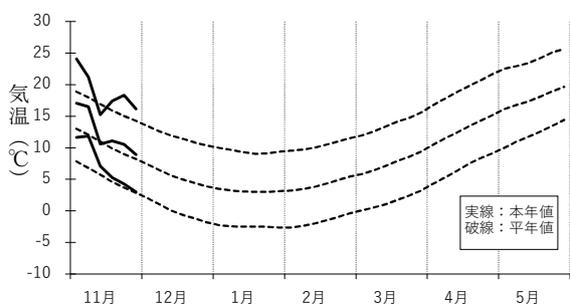


図1 半月別平均気温の推移 (佐野市)

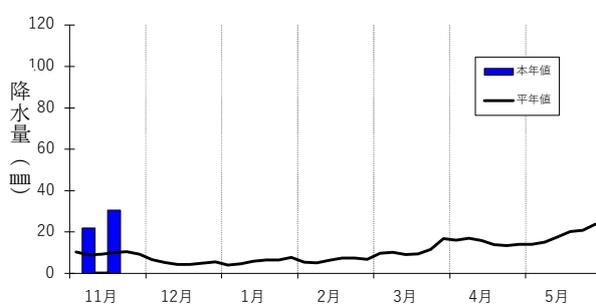


図2 半月別積算降水量の推移 (佐野市)



播種日：11月20日  
品 種：ニューサチホゴールデン

写真1 麦の生育の様子(12月18日撮影)

## 2 今後の気象

- ・ 気象庁の1か月予報(12月14日発表)によると、向こう1か月の平均気温は「高い」確率が40%、降水量は「多い」確率が40%の予報が出されています。【表1】

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 12/16~01/15	30 (高い)   30 (平年並)   40 (低い)
		1週目 12/16~12/22	30 (高い)   50 (平年並)   20 (低い)
		2週目 12/23~12/29	30 (高い)   50 (平年並)   20 (低い)
		3~4週目 12/30~01/12	10 (高い)   40 (平年並)   50 (低い)
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 12/16~01/15	30 (多い)   30 (平年並)   40 (少ない)
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 12/16~01/15	40 (多い)   30 (平年並)   30 (少ない)

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

表1 関東甲信地方における1か月予報(12月16日~1月15日)

### 3 今後の作業について

#### (1) 麦踏み

- ・麦踏みは分げつ促進、耐寒性強化、早期茎立の抑制など収量・品質を安定させるための重要な作業です。
- ・今後は気温が高い予報が出されており、麦の生育が早まる可能性があります。
- ・既に3枚目の葉が展開しているほ場では、年内に1回目の麦踏みを行い、生育が過剰になることを防ぎましょう。

2枚目 3枚目 1枚目



写真2 3枚目の葉が展開している麦

#### 麦踏みのポイント

- ① 3枚目の葉が展開してきたら、麦踏みを行いましょう。【写真2】  
生育が遅れている場合は無理に踏まず、3枚目の葉が展開してから行います。
- ② 麦踏みの回数は、年内に1回、年明けから茎立期直前までに2回以上を目安とします。麦踏みの間隔は10日から2週間程度あけるようにしましょう。
- ③ 麦踏みはほ場が乾燥しているときに行います。雨や雪によって土壌水分が高いときに行くと、土が締まって湿害による根傷みを起こし、生育不良につながります。土を手で握り、湿った状態であれば無理な麦踏みは避けましょう。

#### (2) 湿害対策

- ・麦は栽培期間を通じて湿害を受けやすい作物です。湿害を受けると生育不良になり、減収につながります。
- ・生育初期に湿害を受けると根の張りが悪くなり分げつの発生も少なくなります。排水溝がない場合は早急に設置しましょう。【図3】

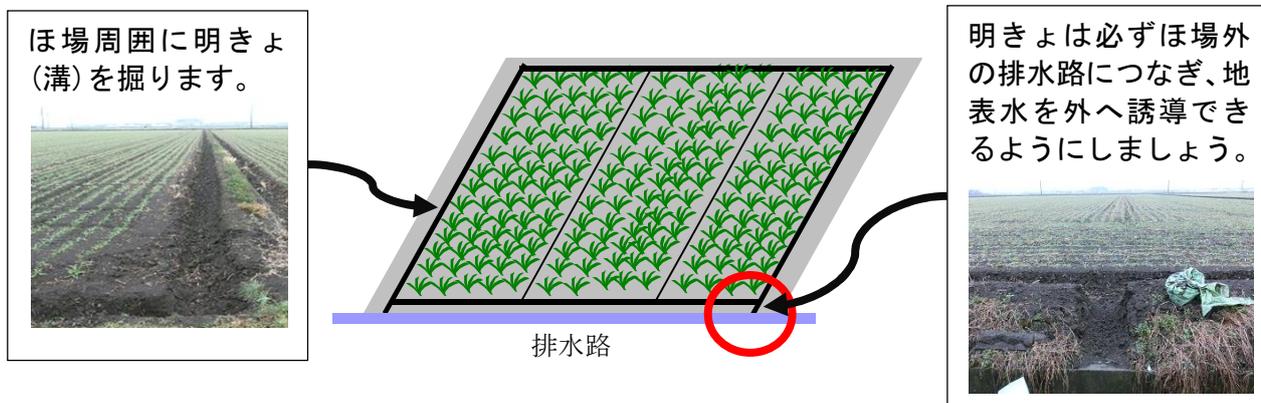


図3 湿害対策の施工イメージ

### (3) 水稻収穫後の秋耕

- ・ 稲刈り後に麦を作付けしていないほ場では、秋耕を早めに行うことで以下の効果が期待できます。

#### ○地力向上とメタンガスの発生軽減

地温が高いうちに稲わらすき込むことで、わらの腐熟分解が促進され、地力が向上します。また、水稻の根腐れの原因となるメタンガスの発生を減らすことができます。わらの腐熟を促進するため、すき込む前に石灰窒素を 10～20kg/10a 散布しましょう。

#### ○イネ縞葉枯病対策

イネ縞葉枯病ウイルスを媒介するヒメトビウンカは再生稲(ひこばえ)やイネ科雑草に寄生し、越冬します。縞葉枯病が発生したほ場の再生稲は、ヒメトビウンカの増殖源と縞葉枯ウイルスの獲得源になります。イネ縞葉枯病対策のため、耕起を丁寧に行いましょう。



#### 問い合わせ先

安足農業振興事務所 経営普及部 農畜産課

TEL: 0283-23-1431

URL: [ps://www.pref.tochigi.lg.jp/g58/index.html](https://www.pref.tochigi.lg.jp/g58/index.html)